

ダイワ外国債券ファンド (年1回決算型) ーダイワスピリット (年1回)ー

運用報告書(全体版) 第12期

(決算日 2025年 8月12日)

(作成対象期間 2024年 8月14日～2025年 8月12日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	2013年 9月 5日～2028年 8月10日		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	イ. ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 ロ. ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券	
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券	
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド		
組入制限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
	ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

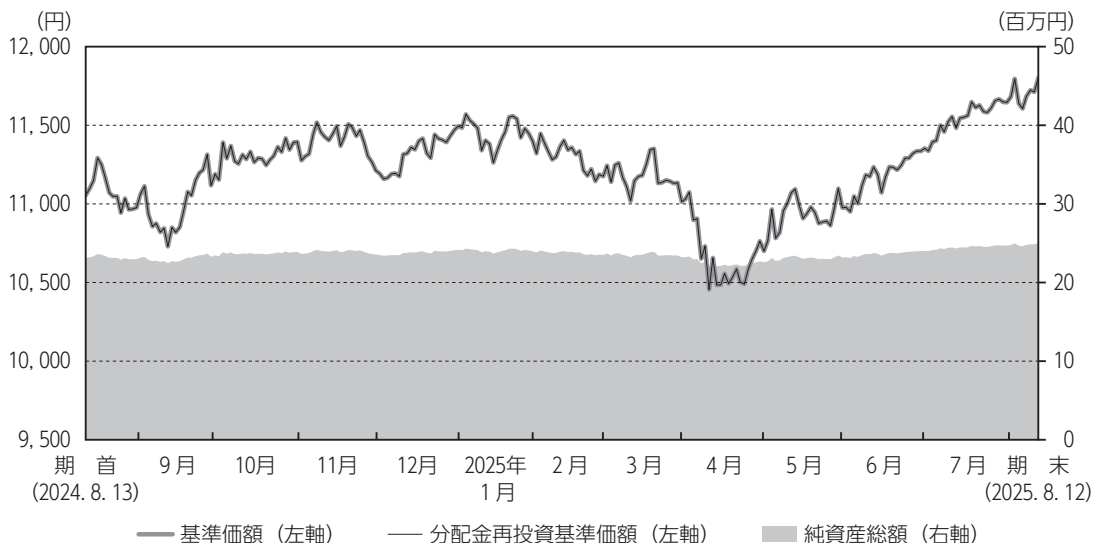
決 算 期	基 準 価 額			FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジ なし・円ベース)		J Pモルガン G B I－E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
8 期末 (2021年 8 月10日)	9,747	0	10.3	13,636	3.2	12,023	6.7	95.0	—	51
9 期末 (2022年 8 月10日)	10,261	0	5.3	14,064	3.1	12,303	2.3	96.3	—	32
10期末 (2023年 8 月10日)	10,537	0	2.7	14,498	3.1	14,436	17.3	95.3	—	31
11期末 (2024年 8 月13日)	11,055	0	4.9	15,713	8.4	15,385	6.6	95.4	—	23
12期末 (2025年 8 月12日)	11,801	0	6.7	16,422	4.5	17,095	11.1	95.9	—	25

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、同指数の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- (注 3) J Pモルガン G B I－E Mグローバル ダイバーシファイド（円換算）は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注 4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 6) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
- (注 8) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：11,055円

期 末：11,801円（分配金 0 円）

騰落率：6.7%（分配金込み）

組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	4.7%	50.5%
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	12.4%	48.7%

基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、先進国および新興国の債券に投資した結果、主に債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国債券ファンド（年1回決算型）－ダイワスピリット（年1回）－

年 月 日	基 準 価 額		FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		JPMエルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2024年 8 月13日	円	%		%		%	%	%
	11,055	—	15,713	—	15,385	—	95.4	—
8 月末	10,977	△ 0.7	15,598	△ 0.7	15,322	△ 0.4	96.1	—
9 月末	11,118	0.6	15,586	△ 0.8	15,647	1.7	95.8	—
10月末	11,394	3.1	16,185	3.0	16,033	4.2	95.8	—
11月末	11,213	1.4	15,970	1.6	15,587	1.3	95.9	—
12月末	11,494	4.0	16,320	3.9	16,166	5.1	95.4	—
2025年 1 月末	11,400	3.1	16,057	2.2	16,130	4.8	95.4	—
2 月末	11,176	1.1	15,787	0.5	15,713	2.1	95.8	—
3 月末	11,014	△ 0.4	15,978	1.7	15,859	3.1	95.8	—
4 月末	10,700	△ 3.2	15,613	△ 0.6	15,594	1.4	95.0	—
5 月末	10,975	△ 0.7	15,768	0.4	16,053	4.3	95.0	—
6 月末	11,354	2.7	16,114	2.6	16,503	7.3	95.3	—
7 月末	11,682	5.7	16,383	4.3	16,972	10.3	95.4	—
(期末) 2025年 8 月12日	11,801	6.7	16,422	4.5	17,095	11.1	95.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 8. 14 ~ 2025. 8. 12)

■海外債券市況

・先進国

先進国債券市場では、金利はまちまちな動きとなりました。

米国では、当作成期首から2024年9月にかけて、インフレの鈍化と労働市場の軟化などを背景にF R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ期待が高まり、金利は低下（債券価格は上昇）しました。10月以降は、労働市場の堅調さなどを背景とした利下げ織り込みのはく落に加え、大統領選挙を受けた財政悪化や関税政策への懸念などから、金利は上昇（債券価格は下落）に転じました。2025年に入ると、関税政策やインフレなどに対する過度な警戒感が後退する局面も見られましたが、4月のトランプ政権による相互関税の発表を受け、インフレの加速や財政悪化への懸念から、長期金利は上昇しました。当作成期末にかけては、雇用指標が市場予想を下回り、利下げ再開の期待から短期金利は低下しました。通期では、短期金利が低下する一方で、長期金利は上昇しました。こうした米国金利の動きなどを背景に、カナダとオーストラリアの金利もおおむね同様の展開となりました。

・新興国

新興国債券市場では、メキシコと南アフリカの金利は低下し、トルコの金利は上昇しました。

メキシコでは、米国の関税政策への懸念などから2024年末にかけて金利は上昇しましたが、米国との通商交渉の進展によって関税への懸念が徐々に和らぎ、利下げ局面が継続する中で金利は低下に転じました。南アフリカでは、国内政治の混乱や米国による相互関税率の高さが嫌気されて金利が上昇する場面もありましたが、相互関税の上乗せ分が90日間停止されたことで落ち着きを取り戻し、また利下げが再開されたことなどから、金利は低下しました。トルコでは、インフレ鈍化を受けて2024年12月から利下げが実施されたことで金利が低下する場面もありましたが、次回の大統領選挙における野党の有力候補と目されていたイマモール氏（イスタンブール市長）が2025年3月に拘束されるなど政治リスクが高まり、通貨防衛のために利下げが困難になるとの見方から、金利は上昇しました。

■為替相場

・先進国

先進国通貨の対円為替相場は、方向感に欠ける動きとなりました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2024年9月中旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ期待などから下落（円高）しました。その後、労働市場の堅調さなどを背景に米国金利が上昇し、日米金利差の拡大が意識され、2024年末にかけて対円で上昇（円安）しました。2025年1月から4月にかけては、日銀の利上げ観測や、トランプ政権による相互関税の発表を受けたリスク回避姿勢の強まりなどから、米ドルは対円で下落しました。当作成期末にかけて

は、関税政策をめぐる米国と主要国との交渉が進展したことなどからリスク回避姿勢が後退し、米ドルは対円で上昇しました。カナダ・ドルと豪ドルも、対円で同様の動きとなりました。通期では、米ドルとカナダ・ドルが対円で小幅に上昇した一方、中国経済の減速懸念などから豪ドルは対円で小幅に下落しました。

・新興国

新興国通貨の対円為替相場では、メキシコ・ペソと南アフリカ・ランドが上昇し、トルコ・リラは下落しました。

メキシコ・ペソは、米国の関税政策への懸念やリスク回避姿勢の強まりから対円で下落する場面もありましたが、米国との通商交渉の進展によって関税への過度な懸念が後退したことなどから、対円で上昇しました。南アフリカ・ランドは、米国による相互関税の発表を受けて対円で下落した後、相互関税上乘せ分の一時停止やリスク回避姿勢の後退などを背景に、対円で上昇に転じました。トルコ・リラは、おおむね金利やインフレ率を下回るペースで米ドルに対して緩やかに下落するよう誘導される中、対円でも下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

(2024. 8. 14 ~ 2025. 8. 12)

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

当作成期中のマザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

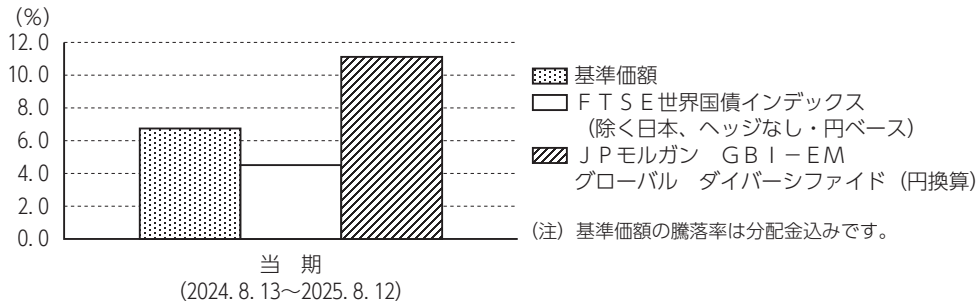
主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債を中心に運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額であったことから、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年 8 月14日 ～2025年 8 月12日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,488

(注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注 4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 8. 14～2025. 8. 12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	160円	1. 425%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 217円です。
(投 信 会 社)	(69)	(0. 615)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(86)	(0. 766)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0. 043)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0. 034	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0. 026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	164	1. 459	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

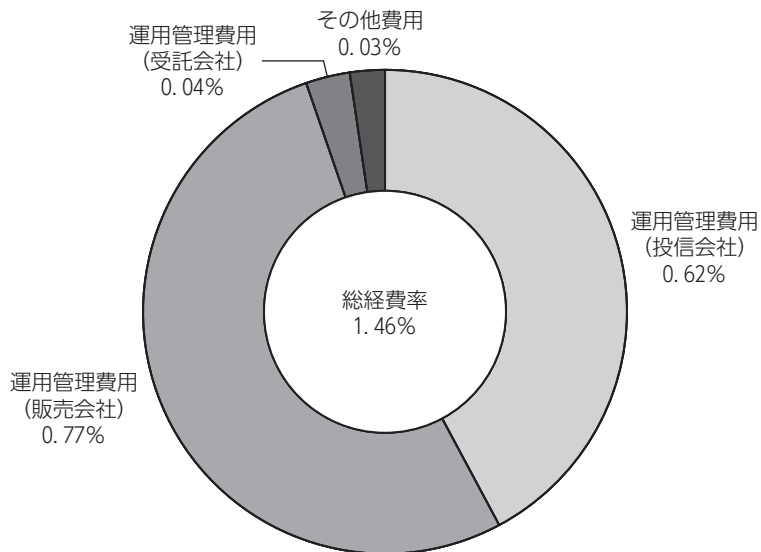
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年8月14日から2025年8月12日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	5	12	—	—
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	16	25	35	60

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	5,265	5,271	12,646
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	6,777	6,758	12,202

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年8月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	12,646	50.2
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	12,202	48.4
コール・ローン等、その他	358	1.4
投資信託財産総額	25,207	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.46円、1カナダ・ドル＝107.76円、1オーストラリア・ドル＝96.78円、1トルコ・リラ＝3.648円、1メキシコ・ペソ＝7.951円、1南アフリカ・ランド＝8.37円です。

(注3) ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,095,370千円)の投資信託財産総額(5,124,242千円)に対する比率は、99.4%です。
ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,733,087千円)の投資信託財産総額(4,766,265千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年8月12日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	25,207,649円
コール・ローン等	358,179
ダイワ外国債券先進国マザーファンド(評価額)	12,646,854
ダイワ外国債券新興国マザーファンド(評価額)	12,202,616
(B)負債	166,987
未払信託報酬	166,094
その他未払費用	893
(C)純資産総額(A－B)	25,040,662
元本	21,218,224
次期繰越損益金	3,822,438
(D)受益権総口数	21,218,224口
1万口当り基準価額(C／D)	11,801円

* 期首における元本額は20,920,629円、当作成期間中における追加設定元本額は306,362円、同解約元本額は8,767円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,801円です。

■損益の状況

当期 自 2024年 8月14日 至 2025年 8月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	750円
受取利息	750
(B) 有価証券売買損益	1,917,207
売買益	1,917,286
売買損	△ 79
(C) 信託報酬等	△ 338,408
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,579,549
(E) 前期繰越損益金	2,501,659
(F) 追加信託差損益金	△ 258,770
(配当等相当額)	(1,198,048)
(売買損益相当額)	(△ 1,456,818)
(G) 合計 (D + E + F)	3,822,438
次期繰越損益金 (G)	3,822,438
追加信託差損益金	△ 258,770
(配当等相当額)	(1,198,048)
(売買損益相当額)	(△ 1,456,818)
分配準備積立金	4,081,208

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	615円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,578,934
(c) 収益調整金	1,198,048
(d) 分配準備積立金	2,501,659
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5,279,256
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	5,279,256
(h) 受益権総口数	21,218,224口

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

運用報告書 第33期（決算日 2025年 8 月12日）

（作成対象期間 2025年 2 月11日～2025年 8 月12日）

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

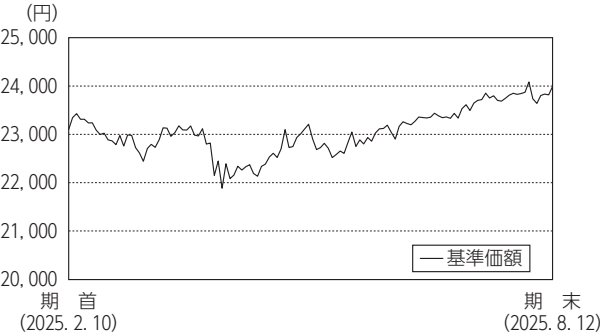
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2025年 2月10日	23,102	%	19,850	%	97.3	%
2月末	22,790	△ 1.4	19,822	△ 0.1	97.7	—
3月末	22,986	△ 0.5	20,062	1.1	97.8	—
4月末	22,523	△ 2.5	19,603	△ 1.2	96.6	—
5月末	22,753	△ 1.5	19,798	△ 0.3	95.2	—
6月末	23,385	1.2	20,233	1.9	95.8	—
7月末	23,873	3.3	20,571	3.6	96.1	—
(期末) 2025年 8月12日	23,992	3.9	20,619	3.9	96.4	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (轉換社債券) を除きます。
- (注6) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：23,102円 期末：23,992円 騰落率：3.9%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の価格上昇や利息収入、投資対象通貨が円に対して上昇 (円安) したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券市場では、金利は低下 (債券価格は上昇) しました。先進国債券市場では、当作成期首より、米国の経済指標の鈍化、および関税政策やインフレなどに対する過度な警戒感の後退などをを受け、米国を中心に金利は低下しました。その後は、トランプ米国政権による市場予想を上回る関税政策の公表を受けたインフレや財政への懸念から、長期金利は上昇 (債券価格は下落) しました。当作成期末にかけては、関税政策をめぐる各国との交渉に進展が見られ、過度な景気悪化懸念が後退したことや、米国の雇用指標が市場予想を下回ったことなどを背景に、短中期主導での金利低下となりました。こうした米国金利の動きなどを背景に、主要国の金利もおおむね低下する展開となりました。

○為替相場

先進国通貨の対円為替相場はおおむね上昇 (円安) しました。対円為替相場は、当作成期首より、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀の利上げ観測などを受け、円高となりました。その後は、トランプ米国政権による市場予想を上回る関税政策の公表を受け、市場参加者のリスク選好が大幅に後退して米ドルは対円で下落 (円高) しました。当作成期末にかけては、関税政策をめぐる各国との交渉に進展が見られ、過度な景気悪化懸念が後退し、米ドルは対円で下落幅を一部巻き戻しました。米ドルはトランプ政権の言動などを背景に信認低下が意識された一方で、米ドルを除く主要通貨の対円為替相場はおおむね上昇する展開となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ドイツ外国債券先進国マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 (2)
(その他)	(0)
合 計	2

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2025年 2月11日から2025年 8月12日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 970	千アメリカ・ドル 1, 445 (—)
	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル —	千カナダ・ドル 243 (—)
		特殊債券	—	995 (—)
国	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリア・ドル 2, 991	千オーストラリア・ドル 4, 936 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2025年 2月11日から2025年 8月12日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 5. 25% 2036/7/21	千円 278, 867	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 3% 2026/10/19	千円 274, 883
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 4. 75% 2045/2/15	70, 481	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 3. 1% 2026/8/17	185, 838
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 4. 75% 2053/11/15	69, 989	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 4. 125% 2032/11/15	143, 950
		CANADA HOUSING TRUST (カナダ) 2. 65% 2028/12/15	102, 573
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 0. 875% 2030/11/15	38, 169
		UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 2. 75% 2027/7/31	27, 962
		CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 1% 2027/6/1	25, 075

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期		当 期			末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
アメリカ	千アメリカ・ドル 8,200	千アメリカ・ドル 8,141	千円 1,208,640	% 23.6	% —	% 16.3	% 7.0	% 0.3
カナダ	千カナダ・ドル 10,250	千カナダ・ドル 10,261	1,105,763	21.6	—	7.9	13.6	0.1
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 29,700	千オーストラリア・ドル 27,130	2,625,711	51.2	—	28.6	15.1	7.5
合計	—	—	4,940,115	96.4	—	52.8	35.7	7.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期			末		
区 分	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	% 0.8750	千アメリカ・ドル 300	千アメリカ・ドル 257	千円 38,279	2030/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	2.7500	100	98	14,561	2027/07/31
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.1250	600	603	89,532	2032/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.5000	700	717	106,562	2033/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.7500	1,300	1,278	189,823	2053/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.7500	500	495	73,521	2045/02/15
	State of Connecticut	地方債証券	5.0900	1,000	1,007	149,506	2030/10/01
	City of New York NY	地方債証券	5.9850	400	414	61,590	2036/12/01
	City of New York NY	地方債証券	5.9680	800	837	124,335	2036/03/01
	CITY OF NEW YORK NY	地方債証券	2.7300	1,000	949	140,986	2029/08/01
	STATE OF CALIFORNIA	地方債証券	3.5000	1,500	1,481	219,939	2028/04/01
通貨小計	銘柄数	11銘柄					
	金 額			8,200	8,141	1,208,640	
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.0000	千カナダ・ドル 50	千カナダ・ドル 48	5,230	2027/06/01
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.7500	3,700	3,759	405,087	2032/06/02
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.6500	6,500	6,453	695,445	2028/12/15
通貨小計	銘柄数	3銘柄					
	金 額			10,250	10,261	1,105,763	
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.7500	千オーストラリア・ドル 1,700	千オーストラリア・ドル 906	87,698	2051/06/21
	TREASURY CORP VICTORIA	特殊債券	1.5000	2,500	2,136	206,765	2031/09/10
	TREASURY CORP VICTORIA	特殊債券	2.2500	2,800	2,350	227,442	2033/09/15
	TREASURY CORP VICTORIA	特殊債券	4.7500	1,500	1,460	141,301	2036/09/15

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

区 分		当 期			末			償還年月日
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
				%	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	千円	
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	2. 0000	2, 200	1, 816	175, 774	2033/08/22
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	5. 2500	3, 400	3, 462	335, 116	2036/07/21
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	3. 0000	1, 500	1, 490	144, 227	2026/10/19
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	1. 1000	3, 000	2, 585	250, 235	2030/11/18
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	3. 3000	1, 500	1, 483	143, 590	2028/08/14
		INTL. FIN. CORP.	特殊債券	1. 2500	500	428	41, 482	2031/02/06
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	3. 1000	1, 500	1, 493	144, 545	2026/08/17
		NORDIC INVESTMENT BK.	特殊債券	3. 3000	1, 600	1, 588	153, 743	2027/08/16
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	3. 1000	5, 000	4, 935	477, 643	2028/02/22
		AFRICAN DEVELOPMENT BK.	特殊債券	3. 3000	1, 000	993	96, 143	2027/07/27
通貨小計	銘柄数	14銘柄						
	金 額				29, 700	27, 130	2, 625, 711	
合 計	銘柄数	28銘柄						
	金 額						4, 940, 115	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年 8月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,940,115	96.4
コール・ローン等、その他	184,126	3.6
投資信託財産総額	5,124,242	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.46円、1カナダ・ドル＝107.76円、1オーストラリア・ドル＝96.78円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (5,095,370千円) の投資信託財産総額 (5,124,242千円) に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年 8月12日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	5,124,242,593円
コール・ローン等	108,250,715
公社債 (評価額)	4,940,115,856
未収利息	46,930,542
前払費用	1,272,621
差入委託証拠金	27,672,859
(B)負債	—
(C)純資産総額 (A－B)	5,124,242,593
元本	2,135,801,158
次期繰越損益金	2,988,441,435
(D)受益権総口数	2,135,801,158口
1万口当り基準価額 (C／D)	23,992円

* 期首における元本額は2,322,728,759円、当作成期間中における追加設定元本額は5,345円、同解約元本額は186,932,946円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ外国債券ファンド (毎月分配型)－ダイワスピリットー 2,130,529,878円
 ダイワ外国債券ファンド (年1回決算型)－ダイワスピリット (年1回)－ 5,271,280円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は23,992円です。

■損益の状況

当期 自 2025年 2月11日 至 2025年 8月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	90,492,723円
受取利息	87,081,965
その他収益金	3,410,758
(B) 有価証券売買損益	99,070,798
売買益	146,418,620
売買損	△ 47,347,822
(C) その他費用	△ 354,149
(D) 当期損益金 (A + B + C)	189,209,372
(E) 前期繰越損益金	3,043,333,742
(F) 解約差損益金	△ 244,108,897
(G) 追加信託差損益金	7,218
(H) 合計 (D + E + F + G)	2,988,441,435
次期繰越損益金 (H)	2,988,441,435

- (注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年 4 月 1 日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

運用報告書 第33期 (決算日 2025年 8 月12日)

(作成対象期間 2025年 2 月11日～2025年 8 月12日)

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

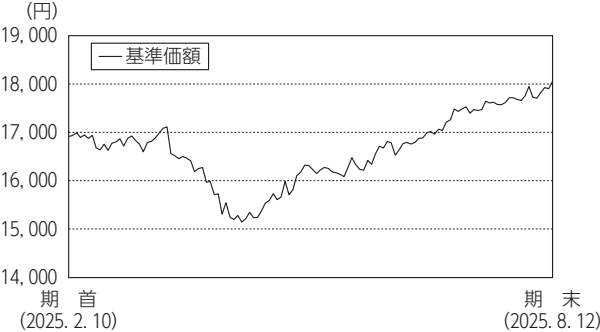
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
	円	%		%	%	%
(期首) 2025年 2月10日	16,916	—	25,937	—	95.2	—
2月末	16,803	△ 0.7	25,676	△ 1.0	94.8	—
3月末	16,187	△ 4.3	25,914	△ 0.1	95.2	—
4月末	15,609	△ 7.7	25,480	△ 1.8	94.7	—
5月末	16,329	△ 3.5	26,232	1.1	96.3	—
6月末	17,065	0.9	26,967	4.0	96.4	—
7月末	17,755	5.0	27,733	6.9	96.2	—
(期末) 2025年 8月12日	18,055	6.7	27,934	7.7	96.9	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) JPMorgan GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
- (注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：16,916円 期末：18,055円 騰落率：6.7%

【基準価額の主な変動要因】

主に投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市場

新興国債券市場では、メキシコと南アフリカの金利は低下し、トルコの金利は上昇しました。

メキシコでは、米国との通商交渉の進展によって関税への懸念が徐々に和らぐと、通貨安懸念が後退する中で利下げ局面が継続し、金利は低下しました。南アフリカでは、米国による相互関税率の高さが嫌気されて金利が上昇する場面もありましたが、相互関税の上乗せ分が90日間停止されたことで落ち着きを取り戻し、また利下げが再開されたことなどから、金利は低下しました。トルコでは、次回の大統領選挙における野党の有力候補と目されていたイマモル氏 (イスタンブール市長) が2025年3月に拘束されるなど政治リスクが高まり、通貨防衛のために利下げが困難になるとの見方から、金利は上昇しました。

○為替相場

新興国通貨の対円為替相場では、メキシコ・ペソと南アフリカ・ランドは上昇し、トルコ・リラは下落しました。

メキシコ・ペソは、米国との通商交渉の進展によって関税への過度な懸念が後退したことなどから、対円で上昇しました。南アフリカ・ランドは、米国による相互関税の発表を受けて対円で下落する場面もありましたが、相互関税上乗せ分の一時停止やリスク回避姿勢の後退などを背景に、対円で上昇に転じました。トルコ・リラは、おおむね金利やインフレ率を下回るペースで米ドルに対して緩やかに下落するよう誘導される中、対円でも下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分 (メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債を中心に運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	4 (4)
(その他)	(0)
合 計	4

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債				
(2025年 2月11日から2025年 8月12日まで)				
外 国	トルコ	国債証券	買 付 額 千トルコ・リラ 197,425	売 付 額 千トルコ・リラ 23,813 (45,000)
	メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ —	千メキシコ・ペソ 23,153 (—)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカ・ランド —	千南アフリカ・ランド 58,042 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債			
(2025年 2月11日から2025年 8月12日まで)			
買 付		期 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 2025/9/10 TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 17.3% 2028/7/19	千円 606,037 122,811	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.5% 2037/1/31 Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2047/11/7 REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 7% 2031/2/28 REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 6.25% 2036/3/31 TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 2025/9/10	千円 213,379 179,473 147,243 92,669 87,712

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

作 成 期	当 期				末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
トルコ	千トルコ・リラ 653,500	千トルコ・リラ 510,730	千円 1,863,399	% 39.2	% 36.0	% 16.4	% 5.8	% 17.0
メキシコ	千メキシコ・ペソ 234,000	千メキシコ・ペソ 199,528	1,586,628	33.3	—	33.3	—	—
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 171,000	千南アフリカ・ランド 138,747	1,161,314	24.4	24.4	24.4	—	—
合計	—	—	4,611,341	96.9	60.4	74.2	5.8	17.0

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
トルコ		TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	21.5000%	千トルコ・リラ 79,000	千トルコ・リラ 61,830	千円 225,590	2032/04/28
		TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	10.4000	151,000	70,369	256,741	2032/10/13
		TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	17.3000	107,000	75,519	275,533	2028/07/19
		TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	26.2000	88,500	81,833	298,568	2033/10/05
		TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	—	185,000	179,660	655,492	2025/09/10
		CORP ANDINA DE FOMENTO	特殊債券	32.5000	43,000	41,516	151,472	2026/01/30
通貨小計	銘柄数	6銘柄						
	金 額				653,500	510,730	1,863,399	
メキシコ		Mexican Bonos	国債証券	8.0000	千メキシコ・ペソ 98,000	千メキシコ・ペソ 82,467	655,769	2047/11/07
		MEXICAN BONOS	国債証券	8.0000	10,000	8,319	66,157	2053/07/31
		Mexican Bonos	国債証券	7.7500	86,000	71,951	572,154	2042/11/13
		Mexican Bonos	国債証券	7.7500	40,000	36,789	292,547	2034/11/23
通貨小計	銘柄数	4銘柄						
	金 額				234,000	199,528	1,586,628	
南アフリカ		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	千南アフリカ・ランド 33,000	千南アフリカ・ランド 25,121	210,267	2036/03/31
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.5000	31,000	21,488	179,856	2041/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	28,000	23,101	193,363	2048/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.5000	59,000	52,364	438,293	2037/01/31
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	20,000	16,670	139,532	2044/01/31
通貨小計	銘柄数	5銘柄						
	金 額				171,000	138,747	1,161,314	
合 計	銘柄数	15銘柄						
	金 額						4,611,341	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■投資信託財産の構成

2025年 8月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4, 611, 341	96. 7
コール・ローン等、その他	154, 923	3. 3
投資信託財産総額	4, 766, 265	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.46円、1トルコ・リラ＝3.648円、1メキシコ・ペソ＝7.951円、1南アフリカ・ランド＝8.37円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (4,733,087千円) の投資信託財産総額 (4,766,265千円) に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年 8月12日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	4, 766, 265, 647円
コール・ローン等	34, 219, 162
公社債 (評価額)	4, 611, 341, 987
未収利息	120, 704, 498
(B)負債	8, 750, 052
未払解約金	8, 750, 052
(C)純資産総額 (A－B)	4, 757, 515, 595
元本	2, 634, 946, 664
次期繰越損益金	2, 122, 568, 931
(D)受益権総口数	2, 634, 946, 664口
1万口当り基準価額 (C／D)	18, 055円

* 期首における元本額は2,937,561,235円、当作成期間中における追加設定元本額は1,486,611円、同解約元本額は304,101,182円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ外国債券ファンド (毎月分配型)－ダイワスピリットー 2,628,188,084円
ダイワ外国債券ファンド (年1回決算型)－ダイワスピリット (年1回)－ 6,758,580円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は18,055円です。

■損益の状況

当期 自 2025年 2月11日 至 2025年 8月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	398, 969, 641円
受取利息	398, 962, 377
その他収益金	7, 264
(B) 有価証券売買損益	△ 88, 438, 293
売買益	273, 940, 157
売買損	△ 362, 378, 450
(C) その他費用	△ 1, 024, 843
(D) 当期損益金 (A + B + C)	309, 506, 505
(E) 前期繰越損益金	2, 031, 611, 188
(F) 解約差損益金	△ 219, 462, 444
(G) 追加信託差損益金	913, 682
(H) 合計 (D + E + F + G)	2, 122, 568, 931
次期繰越損益金 (H)	2, 122, 568, 931

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年 4月 1 日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。